

スプリンクラー設備試験結果報告書

試験実施日 年 月 日

試験実施者

住 所

氏 名

用 途	() 項	構 造			
延べ面積	m ²	階 数	地上 階 地階 階		
加圧送水装置の種別	方式				
流水検知装置の方式	湿式		乾式	予作動式	
スプリンクラーヘッド	種 別				
	設置個数				
試 験 項 目			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結果	
外	水 源 (水道の用に供する水管 を水源とするものを除く。)	水源の種類・構造	――		
		水 量	m ³ (縦 m 横 m 有効深さ m)		
		吸水障害防止措置	有 ・ 無		
		給 水 装 置	――		
		耐 震 措 置	有 ・ 無		
観 試 験	加 圧 送 水 装 置	ポ ン プ を 用 い る も の	設 置 場 所		
			ポ ン プ の 仕 様	製造者名	定格吐出量 L/min
					定格全揚程 m
				型式	製造番号
			電 動 機 の 仕 様	製造者名	種別 型電動機
					定格電圧 V
				型式	定格電流 A
			内 燃 機 関 の 仕 様	製造番号	出力 kW
				製造者名	燃料種別
				型式	定格回転数 r/min
				製造番号	

試 験 項 目				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容		結 果			
外 観 試 験	加 圧 送 水 装 置	ポ ン プ を 用 い る も の	ポンプ・電動機・ 内 燃 機 関	設 置 状 況	―――				
				接 地 工 事	種接地				
				配 線	―――				
				潤 滑 油	―――				
				燃 料 タ ン ク	―――				
				蓄 電 池	―――				
			水温上昇防止 のための逃し 装 置	配 管 ・ バ ル ブ 類					
				オ リ フ ィ ス 等	流過口径	mm			
				ブースターポンプ に 設 け る 逃 し 配 管 ・ 逃 し 装 置	逃し配管の高さ	m			
					逃し装置の設定圧力	MPa			
			性能試験装置の配管・バルブ類		―――				
			呼 水 装 置	材 質	鋼板製・合成樹脂製				
				水 量	L				
				溢 水 用 排 水 管	管の呼び	A			
				呼 水 管	管の呼び	A			
				補 給 水 管	管の呼び	A			
				減 水 警 報 装 置	フロートスイッチ・電極				
			制 御 装 置	設 置 場 所					
				制 御 盤					
				予 備 品 等	―――				
				接 地 工 事	種接地				
			圧力計・連成計	設 置 位 置	―――				
				性 能	級				
			起 動 装 置	直 接 操 作 部	―――				
					起動用水圧 開 閉 装 置	起動用圧力タンク	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器		
						タ ン ク の 容 量	L		
						配 管 ・ バ ル ブ 類	管の呼び	A	
				自 動 式 起 動 装 置	閉鎖型スプリンク ラーヘッド	―――			
					自動火災感知装置				
				手 動 式 起 動 装 置	設 置 場 所 等	―――			
					設 置 高 さ	床面からの高さ	m		
					構 造	―――			
					表 示	―――			
				流 水 検 知 装 置					
			補 助 水 槽						

試験項目				種別・容量等の内容								結果	
外観	加圧送水装置	高架水槽を用いるもの	構造										
			内容積・落差		m ³ m								
			配管・バルブ類		――								
			水位計		――								
		圧力水槽を用いるもの	種類・構造		第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器								
			内容積・有効圧力		m ³ MPa								
			自動加圧装置		有 ・ 無								
			配管・バルブ類		――								
			水位計・圧力計		――								
		耐震措置		有 ・ 無									
	配管・バルブ類	設置状況		――									
		機器	配管		――								
			バルブ類		――								
			吸水管		――								
			フート弁		――								
		防食措置		有 ・ 無									
		排水措置		有 ・ 無									
		耐震措置		有 ・ 無									
電源	常用電源		V										
	非常電源の種類		専用受電・自家発電・蓄電池・燃料電池										
試験	スプリンクラーヘッド	放水区域の数・設定状況（開放型スプリンクラーヘッドに限る。）	階									――	
			放水区域の数									――	
			設定状況										
	設置方法	配置等		――									
		配管への取付		――									
		取付方向		――									
	機器	閉鎖型スプリンクラーヘッド	表示温度										
			構造・性能		――								
開放型スプリンクラーヘッド		――											

④

試 験 項 目				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容										結 果				
外 観 試 験	制 御 弁		設 置 場 所 等		――													
			設 置 高 さ		床面からの高さ										m			
			構 造		――													
			表 示		――													
	流 水 検 知 装 置 ・ 圧 力 検 知 装 置		設 置 場 所 等		――													
			種 別 ・ 口 径		――													
			減 圧 警 報		――													
			構 造 ・ 性 能		――													
	一 斉 開 放 弁		起動操作部	設置場所等														
				設置高さ	床面からの高さ										m			
			作 動 試 験 装 置		――													
			構 造 ・ 性 能		――													
	末 端 試 験 弁		設 置 場 所															
			構 造		――													
			表 示		――													
	自 動 警 報 装 置		音 響 警 報 装 置		――													
			火 災 表 示 装 置		――													
	試 験	送水口	設置場所等		設 置 場 所 等		――											
					設 置 高 さ		地盤面からの高さ										m	
					表 示		――											
機 器		結 合 金 具		――														
		逆 止 弁 等		――														
減 圧 措 置				減圧補助水槽・別配管系統・減圧弁														
排水設備（放水型ヘッドを用いるスプリンクラー設備に限る。）				――														
補助散水栓等		散 水 栓		散水栓の 設置個数	階										―			
					設置個数										―			
				設 置 場 所		――												
	周囲の状況・操作性			――														
	開 閉 弁 の 設 置 高 さ			床面からの高さ										m				
	ホ ー ス の 接 続 等			――														

試 験 項 目				種 別・容 量 等 の 内 容		結 果		
外 観 試 験	補 助 散 水 栓 等	散 水 栓		消 火 栓 開 閉 弁		手動式 ・ 自動式		
		散 水 栓 箱		周 囲 の 状 況		―――		
				設 置 状 況		―――		
				材 質 等		―――		
				赤 色 灯		―――		
				表 示		―――		
		ホース・ノズル		ホース（結合金具を含む。）		―――		
				ホ ー ス 接 続 口		―――		
				ノ ズ ル		―――		
				結 合 状 態		―――		
				収 納 状 態		ホースリール式・折畳等収納式		
		降 下 装 置		設 置 高 さ		m		
				表 示 灯		―――		
機 能 試 験	加 圧 送 水 装 置 試 験	ポ ン プ を 用 い る も の	呼 水 装 置 作 動 試 験	減水警報装置作動状況		底面からの高さ	cm	
				自動給水装置作動状況		―――		
				呼水槽からの水の補給状況		―――		
			制 御 装 置 試 験	起動・停止操作時の状況等		―――		
				電源切替時の運転状況		―――		
			起 動 装 置 試 験	ポンプの起動状況等		―――		
				起動表示の点灯状況		―――		
				起動用水圧開閉装置の 作 動 圧 力		設定圧力 作動圧力	MPa MPa	
			ポンプ試験	運 転 状 況		―――		
				※締切り運転 時 の 状 況	締切揚程	m		
					電 圧	V		
					電 流	A		
				※定格負荷運 転時の状況	定格揚程	m		
					電 圧	V		
					電 流	A		
			※ 水 温 上 昇 防 止 装 置 試 験		逃し水量		L/min	
			※ ポ ン プ 性 能 試 験 装 置 試 験		表示値の差		L/min	
		高架水槽を 用いるもの	作動試験	給水装置作動状況		―――		
			静 水 圧 測 定		最下位 MPa 最上位 MPa			

⑥

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」（平成9年消防庁告示第8号）又は屋内消火栓設備の屋内消火栓等の基準（平成25年消防庁告示第2号）に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

6 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。